

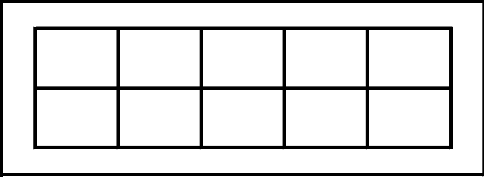
2009年10月6日
郵便事業株式会社
東北支社

特殊切手「国際文通週間にちなむ郵便切手」の発行

郵便事業株式会社（東京都千代田区、代表取締役 CEO 北村憲雄）は、“世界の人々が文通によって文化の交流に努め、世界平和に貢献”することを目的として、本年も特殊切手「国際文通週間にちなむ郵便切手」を発行いたします。

額面は、90円・110円・130円の3種類を発行します。これは、国際郵便における日本から海外の各地帯あての手紙（定形）の最低料金額となります。

1 発行する切手の内容

名称	国際文通週間にちなむ郵便切手		
発行日	平成21年10月9日（金）		
種類	90円郵便切手	110円郵便切手	130円郵便切手
意匠	うたがわひろしげが 歌川広重画 とうかいどうごじゅうさんつぎのうち 東海道五拾三次之内 ふじさわ 藤澤	歌川広重画 東海道五拾三次之内 おきつ 奥津	歌川広重画 東海道五拾三次之内 ちりゅう 池鯉鮒
シート構成	 <p>各1シート1種10枚 1枚から販売します。</p>		
印面・小切れ寸法	縦33.0mm×横45.0mm		
シート寸法	縦93.5mm×横250.0mm		
版式刷色	グラビア5色		
発行枚数	350万枚 (35万シート)	350万枚 (35万シート)	250万枚 (25万シート)
デザイン	たまき あきら 玉木 明（切手デザイナー）		

2 発行する郵便切手のデザイン等

【「国際文通週間」について】

国際文通週間は、昭和32年（1957年）の第14回万国郵便大会議において、“世界の人々が文通によって文化の交流に努め、世界平和に貢献しよう”という趣旨で設定されたキャンペーンであり、万国郵便連合創設記念日である10月9日を含む1週間となっています。日本では、その一環として、「国際文通週間にちなむ郵便切手」を昭和33年（1958年）以降、毎年発行しています。

【「東海道五拾三次」について】

江戸時代に整備された日本橋（東京）から三条大橋（京都）を結ぶ東海道の起点、終点と53の宿場を題材として、歌川広重が描いた浮世絵版画です。

歌川広重（1797～1858）は、江戸時代後期の浮世絵師で、15歳の時に歌川豊広に入門して浮世絵界に入りました。その後、狩野派、南画等を学び、独自の情緒ある画趣を確立。葛飾北斎とともに風景画の大家として、国内外にその名が知られています。

これまでも、「国際文通週間にちなむ郵便切手」として、「東海道五拾三次」を題材としており、30の宿場等をデザインした郵便切手を発行してきました。

本年は、「東海道五拾三次（保永堂版）」（平木浮世絵美術館蔵）のうち、まだ題材としていない宿場の中から、90円郵便切手に「藤澤」（神奈川県）、110円郵便切手に「奥津」（静岡県）、130円郵便切手に「池鯉鮒」（愛知県）をデザインしています。

3 その他

(1) ゆうちょ銀行の送金サービスによる通信販売

銀座支店において通信販売を実施します。ご希望のお客さまはゆうちょ銀行送金サービスの「振替払込書」に必要事項をご記入の上、お申込みください。

なお、通信販売料金、申込締切日等は、ゆうびんホームページの以下のアドレスによりお知らせしています。

http://www.post.japanpost.jp/kitte_hagaki/stamp/tokusyu/2009/h211009_t_01.html

(2) インターネットによる通信販売

ゆうびんホームページの以下のアドレスより、お申込み可能です。

<http://kitte-shop.post.japanpost.jp/goods/>

インターネットでの通信販売は5,000円以上のお買い上げで送料が無料になります。

【報道関係の方のお問い合わせ先】

担当：郵便事業株式会社 東北支社
総務部 広報担当
電話：022-267-7654

【お客さまのお問い合わせ先】

お客様サービス相談センター
<電話番号>

フリーコール ふみには ハロー
0120-2328-86

携帯電話からご利用のお客さま
0570-046-666

（通話料はお客さま負担です。）

<ご案内時間>

平日：8:00～22:00

土・日・休日：9:00～22:00

※おかけ間違いのないようご注意ください。